

第26回・令和5年度 全視連功労者 功績概要

		氏名・ひらがな	功績概要
1	岩手県	吉田 郁子 よしだ いくこ	昭和59年から18年間にわたり、岩手県中部地域視聴覚教育協議会の運営委員として教材整備の充実を図りながら、自ら実技指導者となって16ミリ映写機操作技術講習会を開催するなど、教育映画フィルム及びビデオ教材の利用促進に尽力した。また、ビデオ教材の必要性を唱えるとともに教材制作の中心的存在として携わり、地場産業や祭りをテーマとした4種類の自作教材を完成させ、域内の映写会等で活用した。協議会解散後は、図書館職員等としてライブラリーの運営に携わりながら、バリアフリー映画会や出前映画会等の多様な形態の映画会を企画し、映像資料を活用した市民サービスの提供に努めた。
2	茨城県	興野 庄一 きゆうの しょういち	平成4年に公立中学校に奉職、視聴覚教育担当となる。同26年から4年間、水戸市教育委員会指導主事情報教育担当として市のICT活用の充実や、公務支援システムの導入に尽力。同30年教頭として公立中学校に勤務、同時に茨城県視聴覚教育振興会に入会し、約6年間わたり活動し現在に至る。同振興会の役員としては、指導者研修会を企画運営し、学校教育及び社会教育の指導者育成に尽力した。また、毎年、自作教材発表会を企画運営し、児童生徒や教員、その他地域で活躍する人たちの情報共有やレベルアップに貢献するなど、学校教育や社会教育の情報教育に関する現代的課題の解決やその指導を行ってきた。
3	埼玉県	根岸 昌史 ねぎし まさし	昭和57年に春日部市役所に入庁、10年間の公民館勤務を経て平成4年に春日部市視聴覚センター事業係主事、同22年に春日部市視聴覚センター所長、その後公民館長を経て同29年に再度春日部市視聴覚センター所長となり、令和2年に定年退職。同年に再任用として春日部市視聴覚センター主任として今日に至る。視聴覚センターで業務をするようになってからは、地域学習教材ビデオ「春日部歴史散歩」の制作等に携わり、視聴覚教材や視聴覚機器の整備充実に努めた。さらに地域の視聴覚ボランティア（ビデオ特派員）の育成に努めるなど、春日部市の視聴覚教育活動の発展に大きく貢献した。
4	新潟県	福保 嘉奈子 ふくほ かなこ	平成14年に上越地区広域視聴覚教育協議会事務員となり、退職する令和2年まで19年勤務した。教材利用の増加に対応するためのパソコン貸出管理システム「貸出さん」による貸出業務を行い、サービスの迅速化ときめ細かい相談業務に寄与した。また、教材・機材の配送を目指して導入した宅配システムをパソコンの貸出システムと連動させ、きめ細かく宅配業者との調整を行い、常に利用者が使いやすいように尽力した。さらに、長年の教材貸出及び保守業務で培ってきた経験を生かした教材目録作りに貢献するなど上越地区の視聴覚機器、視聴覚教材の整備充実に努め、その活用促進を図るなど地域の視聴覚教育進展に尽力した。
5	愛知県	森 竜師 もり たつし	昭和62年に公立学校教員として奉職、平成21年より岡崎市教育委員会学習情報指導員、同24年より岡崎市教育委員会社会教育課視聴覚ライブラリー専門主事、同25年より岡崎市教育委員会学校指導課専門主事、同28年より岡崎市教育委員会学校指導課主幹、同29年より公立小・中学校にて校長となり今日に至る。岡崎市教育委員会学習情報指導員として、視聴覚教育・情報教育を推進し、岡崎市の視聴覚・情報教育の核となる同市視聴覚ライブラリーの業務の活性化を図り、教材・機材の利用促進や研修の改善・充実を図り、岡崎市、西三河地区及び愛知県内の視聴覚・情報教育を常に先導し、その普及・発展に貢献している。
6	北九州市	馬場 重明 ばば しげあき	長きにわたって社会教育、社会福祉発展のために奉仕活動を継続している北九州市A V Eの会に平成13年に入会し、現在まで23年間、同会の中心メンバーとして活動している。同18年には、同会の理事となり、会の運営に尽力してきた。壊れた8ミリ映写機を手に入れ、映るように独学で修理し、同会の総会等で上映を行った。今後も8ミリ映写機の活用を含め、本市の視聴覚教育の充実と発展に貢献すると共に、自治会や子供会などでの映写会を通して、貴重な映像や文化を微力ながら継承したいという意欲をもっている。これらの活動は視聴覚教育の推進や社会福祉の充実に果たす役割は大きく、他者の模範となるものである。